



金沢辰己丘高等学校(新設校)

●所在/金沢市末町

【校舎棟】 ●完成/S.81 ●構造/RC造:4F ●延床/12,608㎡

【第1体育館】 ●完成/S.61 ●構造/SRC造:2F(一部3F)

●延床/2,356㎡

【第2体育館】 ●完成/S.63

●構造/RC造:2F

●延床/1,681㎡

東方に医王の峰と戸室の山系、眼下に犀川、浅野川の清流と金沢市内を一望できるすばらしい環境の地、館山丘陵に、本県では従来にないユニークな高等学校が昭和61年4月に開校した。

校舎は山並みの緑や高台の景観と調和を図るため、瓦葺きの勾配屋根とし、シンボルタワーに「カリヨン」の塔を設けている。

施設においても、ゆったりとした廊下は、生徒の作品展示の画廊として、学生ホールは語らいの場として野外ステージをもつ中庭と一体となった大空間となっている。

また、小ホールの機能をもつ視聴覚教室、芸術棟の美術・音楽教室、国際化時代に対応した人材育成のためのLL教室等、現代建築の技術や新しい感覚がいたるところにみられる。

